

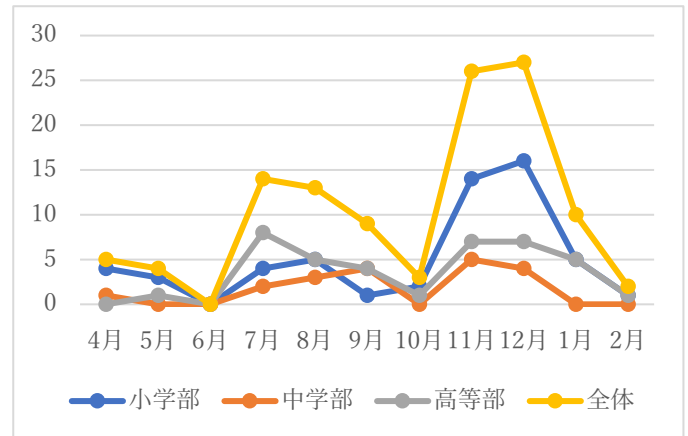
学校保健委員会報告

栃木県立足利中央特別支援学校

2月13日(月)に、学校医、保護者代表、職員で、本校の児童生徒の健康問題等について話し合う『学校保健委員会』を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、過去2年間は書面での開催でしたが、今年度は対面形式で行いました。今回は、新型コロナウイルス感染症と今後の対応について、保護者の皆様から事前にいただいたアンケート結果を参考に、話し合いました。本校における今年度の新型コロナウイルス感染症に関する状況と学校医からの御意見を御報告します。

●新型コロナウイルス感染症の感染状況●

本校では、11・12月にかけて感染者が増加しました。特に小学部で感染者が多く、学級閉鎖や学年閉鎖を実施し、感染拡大を防ぐ対応を行いました。現在、感染状況は落ち着いています。



【新型コロナウイルス感染症に関する今後の対応】

1. 消毒について

- ①本校での消毒体制→児童生徒の下校後、通常の清掃に加えて、ドアノブや手すりなど大勢がよく触れる箇所はアルコールで消毒、床は除菌スプレーで消毒液をまき、除菌シートで拭いています。



感染症への対応について、通常通りの清掃だけでよいと思います。また、消毒をするタイミングですが、何かをする前に消毒することも大切です。生活の中でウイルスがない場所はないため、使った後に消毒をするというよりは、使う前に消毒をするとういことだと思います。

②手洗いと手指消毒に関して



手洗い・うがいなど基本的なことが最も効果的です。手洗いをすると皮脂などの汚れが落ち、ばい菌などがつきにくくなります。そのため、現在の取組を継続していくことがよいと思います。



2. ワクチンについて (※アンケート結果で多かった質問)



ワクチン接種の基本的な考え方として、①任意接種であること、②ワクチンは感染しないようにするためのものではなく、重症化を防ぐために打つものであるということです。本人の体調や御家庭の状況を考慮し、ワクチン接種は保護者の考えに基づいて対応することが大切だと思います。



本人と家族の同意が大切だと思います。

打ちたい人、打ちたくない人、それぞれの考えがあると思うので、やはり本人と家族の意思や考えを尊重することが必要だと思います。

効果と副作用を考えたときに個人が考えることであって、ワクチン接種の可否について学校や医者は何も言えません。ワクチンを打っても感染している人はいます。このことも踏まえて最終的には、個人の考え・判断になると思います。



ワクチンを打っても感染します。でも打っていたら軽症で済んだ事例もあります。やはり、本人の考えが重要だと思います。

★ワクチン接種に関して 本校の学校医相場先生より★

大人数の待合室などでは、不安定になりやすくワクチンを接種しにくい方のために、足利第一病院では以下のような対策を行っています。

①車内で問診・接種を受けることができ、一定期間観察する場所も確保されています。

②事前に予約をすることで車内で接種を受けることが可能です。

御心配や不安なことがある場合は、足利第一病院に直接お問い合わせください。



【健康面に関する質問について】

①言葉が出ず、視力検査をしても視力がどの程度見えているのか分かりません。

何か分かる方法はありますか。



視力は自覚的検査であるため、本人が応えてくれないと測定することはできません。どの程度見えているかは、日頃のお子さんの行動を観察し、家族など周りの人の感覚で想像するしかありません。

②耳掃除を嫌がりあまり頻繁にできないのですが、どれくらいの頻度で行ったらよいですか。また、耳掃除を何年もしないことで、聞こえの問題や病気の問題など可能性はありますか。



耳垢がたまる速度には個人差があるので、実際の頻度も一律には決められていません。耳垢も時間が経つと、様々な疾患へつながる可能性もあります。御心配な方は、主治医に相談してみるのが良いと思います。

③学校医以外で障がい者に対応している歯科医院があれば教えてください。



栃木県内の障害者歯科医療協力医は栃木県の HP に掲載されています。

●足利市:学校歯科医、細見歯科クリニックを含む17か所

●佐野市:8か所

各市ごとに対応できる歯科医院がありますので、詳細は栃木県の HP をご確認ください。いただき、各歯科医院にお問い合わせください。